



埼玉民医連からはタミフルなども届けられる

全国から支援物資が続々届く！

3月11日の地震発生以後、全国の民医連の仲間から支援物資がたくさん届けられています。坂総合クリニック1階の支援物資置き場は、支援物資で足の踏み場もないくらいです。

本日12時30分、埼玉民医連からたくさんの物資を積み込んだワンボックスカーが坂総合病院に到着しました。徳田敬博さん(診療放射線技師) <写真左>たちは、埼玉を午前6時に出発しました。県連内で呼びかけるなどして、たくさんの食料品や衣類、薬品などを運んできました。薬品ではインフルエンザの拡大が懸念されることから、薬局から抗インフルエンザ薬「タミフル」も持参してくれました。

支援物資は、宮城民医連内の事業所で、日常診療のために“必要物資”の求めに応じて配布していますが、避難所まわりの際などにも配布しています。全国の仲間からの多大な支援に感謝申し上げます。

避難所はとても寒く風邪をひかないか心配

避難所まわり

3月18日午前、青森民医連医師熊谷真史、三重民医連医師宮田智仁、看護師近澤侑加、群馬民医連 DMAT 関千歳、長野民医連看護師古池智、北海道民医連看護師鈴木ひろみ、千葉民医連事務守田達夫、似里敬さんは、塩釜第3小学校などの避難所を訪れ健康相談を行いました。

一人暮らしのため避難所に来て1週間になる72歳の男性は、「水が少ないのが大変。昨夜から雪も降って避難所はとても寒く、風邪をひかないか心配」と話していました。「上気道症状を訴える方が多かったがインフルエンザではない様子。小児の薬を持っていないため坂病院を案内したが、帰り道小児科医院がやっていたので、周辺の医院の開業状況がわかればよかった。」(宮田医師)

塩釜医師会加盟の医院では、地震後に開業している場合、医院の前などに黄色い旗を掲げています。

事業所の状況



症状を聞き洩らさず問診する関千歳さん(DMAT)

事業協

建物3階、4階の壁が剥離



建物の壁が剥がれおち、棚が倒れるなどした。薬品関係の破損はなし。多賀城市在住の2人の職員が床上浸水の被害にあうが人的な被害はなかった。

首相官邸から油提供の申し出 A重油14kl届く

災害対策本部に、首相官邸から油関連提供の申し出があり、どのような方法で支援できるか話し合いがもたれた結果、A重油14klが提供されました。これにより病院の暖房などが安定供給されることとなります。引き続きガソリンや軽油の入荷について、調整中。

医師国家試験 7人全員合格！

18日、夕方の全体打ち合わせ会議で、宮城で医師国家試験を受験した7人全員が合格したことが報告されました。



この食べ物で 元気を出して！

ひさい地の方たちへ、この食べ物で少しでも元気をだしてください。
(中島ゆい・いずみさんより)
千葉さわやか訪看の子どもさんより
手書きメッセージ・イラストが届く

全国支援 3月18日午後5時現在 累計389人